

情報産業労働組合連合会東京都協議会

第 14 回定期大会

組合員の皆さんこんにちは。

渉外担当の私が、今回は感想文でもいいので記録を残すように仰せつかい、書かせていただきます。

2012年9月2日～3日にかけて情報労連都協定期大会が栃木県鬼怒川観光ホテルで開催され堀執行委員長は代議員として、私は傍聴員として一緒に参加しました。

勉強の一環ということで委員長から傍聴員として出席してみないか。と誘われ、貴重な体験をさせていただきました。

大会は2日午後の約4時間を予定、開催場所が鬼怒川観光ホテルということもあり、一足先にチェックインを終え、開会まで時間があるので温泉に入り、日頃の疲れを洗い流し、身を清めました。

温泉から上がりロビーに行くと、そこにいる関係者の人数に吃驚しました。このような会議会合など今まで縁がなかったのと、真面目な中にも交流優先の姿勢が皆さんから感じられ、なんと約200人以上、聞けば色々な労働組合の執行委員長から役員の皆様が多数、しかも男女問わず、中には議員さんやSPもいて賑わっておりました。

大会は粛々と進み、特に私が感銘を得たのは、この定期大会スローガンでもある。

東日本大震災の復興と再生に向けた取り組みを強化し、明るい未来の創造へと結集し取り組みもうとしている事でした。

震災で職を失った、家族を失った方々に対し何かできないかとボランティア活動など積極的に推進する労働組合の姿でした。

組合活動で養った知識や見識を会社を良くするためだけではなく、労働者の幸せを、そして社会に貢献するため皆さんここに集結されて追求している。

これは素晴らしいと傍聴席で聞いておりました。

その後の懇親会では食事を通じて情報労連の多様な労組の方々との縁を築かせいただいた上に、

なんと言っても同じ志をもつ仲間達がこんなにたくさんいることに共感と温かみを感じ、職場の小さな悩み事や個人の悩みも皆さん真剣になって一緒に考えてくださって本当に感動でした。

最後に堀執行委員長や情報労連、他業種の労組の方と食べたホテルのラーメンがおいしかった事が忘れられません。

これからも他業種の方と交わって色々な人の考え方を吸収し、自分のスキルアップにつなげていけたら最高だと感じております。

最後まで読んでいただきありがとうございました。

C S P セントラル警備保障労働組合

